



土砂災害発生から10ヶ月後の宮川村



雪崩による国道405号の寸断



地デジ・ワンセグ・ 情報共有 プラットフォーム

「デジタルで変わる災害情報」

いつでも 欲しい情報を きめ細やかに

これまでの災害情報の伝達は、どう変わっていくのか？
新しいサービスを有効に使うためには？

会場：東京大学「山上会館」

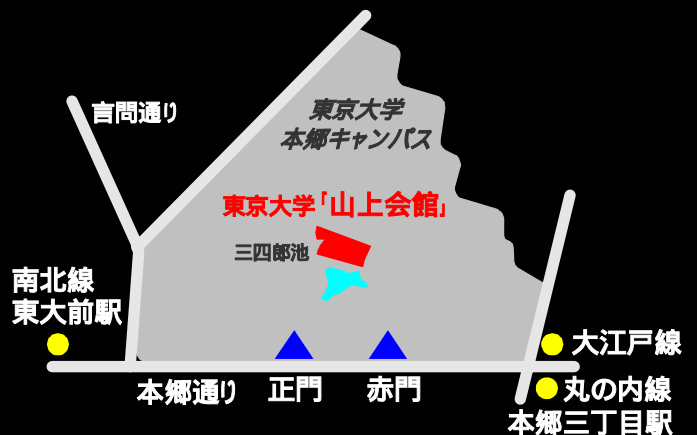
南北線 東大前駅1番出口 徒歩8分

丸の内線・大江戸線 本郷三丁目駅 徒歩8分

日時：2006年7月29日（土）

13:00 ~ 17:10

主催：日本災害情報学会



デジタルで変わる災害情報 ~ 地デジ・ワンセグ・情報共有プラットフォーム ~

デジタル放送研究会とは・・・

「デジタル放送研究会」は、日本災害情報学会が2004年11月に初めて設置した研究会です。研究会では、デジタル放送の特性を活かしたら、防災情報を広く人々に伝えるのに、どのような利用法が考えられるか、来るべきデジタル放送時代の防災情報のあるべき姿について、考えてきました。

災害時の避難を効果的にするには、避難勧告などの防災情報をもっと的確に、迅速に伝える必要がありますが、その目的のために、デジタル放送にはどのような可能性があるのでしょうか？また、日頃から、私たち国民の自助に繋がる防災放送の役目を果たせるようにするには、どのような課題があるのでしょうか？

10回の勉強会、専門家からのヒアリング、以下の4地域への現地調査などの活動結果を踏まえ、ここに公開フォーラム「デジタルで変わる災害情報 ~ 地デジ・ワンセグ・情報共有プラットフォーム ~」を開催します。

新潟県（H.16水害、新潟県中越地震、H.18豪雪）

三重県（H.16津波、土砂災害）

九州（H.17台風14号災害）

三宅島（H.12～火山活動）

本研究活動は、（財）放送文化基金の助成・援助を受け実施した。

開催主旨

本フォーラムでは、デジタル放送研究会における2年間の研究成果を基に、デジタル放送によって災害情報伝達がどのように変化するかについて、事例紹介を行います。

さらに、デジタル放送導入以前に発生した中越地震時の行政対応について、新潟県泉田知事よりご講演頂きます。

最後に、マスメディア、防災行政、市民防災等の各分野からのパネリストによるディスカッションを通じて、今後の災害時のデジタル放送利用の方向性について提言を行う予定です。

プログラム

12:30	開場
13:00～13:10	開会挨拶 藤吉 洋一郎（大妻女子大学教授・NHK解説委員）
13:10～14:35	事例紹介 天野 教義（TBSテレビ） 小田 貞夫（十文字学園女子大学教授） 田島 誠（東海テレビ） 大石 剛（静岡放送）
14:35～15:15	招待講演「知事の見た中越地震の行政対応」 泉田 裕彦（新潟県知事）
15:30～17:00	パネルディスカッション コーディネータ 藤吉 洋一郎 パネリスト 泉田 裕彦（新潟県知事） 岩田 孝仁（静岡県防災局） 首藤 由紀（社会安全研究所） 中村 功（東洋大学教授） 羽原 順司（NHK新潟放送局）
17:00～17:10	提言・閉会挨拶 藤吉 洋一郎（日本災害情報学会副会長）
17:30～19:30	懇親会（会場：山上会館 1F）

【ご参加方法】

参加は無料です（懇親会は会費4,000円）。氏名、所属または住所、連絡先のメールアドレスまたは電話番号、参加希望人数（懇親会参加予定）を下記のいずれかの方法でご連絡下さい。

E-mail:tokio@jasdis.gr.jp FAX:03-3359-7987

はがき：〒160-0011 東京都新宿区若葉1-22 ローヤル若葉208 日本災害情報学会事務局

【お問合せは】

E-mail:tokio@jasdis.gr.jp TEL:03-3359-7827 日本災害情報学会事務局へ